

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)は、第120期～第125期までの決算、モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)は第21期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドおよびモルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券への投資を通じて、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本としており、当期もそのように運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

毎月分配型：第125期末（2019年2月15日）	
基準価額	4,960円
純資産総額	3,346百万円
第120期～第125期	
騰落率	4.6%
分配金合計	180円

年2回決算型：第21期末（2019年2月15日）	
基準価額	9,372円
純資産総額	1,024百万円
第21期	
騰落率	4.3%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記ホームページの「ファンド情報」にてファンド名をご選択いただき、「ディスクロージャー」欄から当ファンドの運用報告書をご覧ください。

○運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信

(毎月分配型)
(年2回決算型)

追加型投信／内外／債券 交付運用報告書

(毎月分配型)

第120期（決算日 2018年9月18日）

第121期（決算日 2018年10月15日）

第122期（決算日 2018年11月15日）

第123期（決算日 2018年12月17日）

第124期（決算日 2019年1月15日）

第125期（決算日 2019年2月15日）

(年2回決算型)

第21期（決算日 2019年2月15日）

作成対象期間：2018年8月16日～2019年2月15日

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

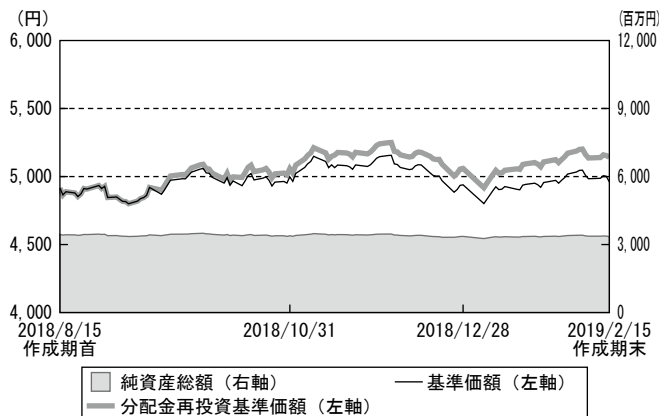
受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

■運用経過

基準価額等の推移



第120期首：4,916円

第125期末：4,960円（既払分配金180円）

騰落率：4.6%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得したことや、為替市場において特に新興国通貨が平均的に対日本円で上昇したため、基準価額は上昇し、作成期首に4,916円でスタートした基準価額は作成期末には4,990円（第125期分配金30円込み）となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	第120期～第125期 (2018年8月16日～2019年2月15日)		項目の概要
	金額	比率	
	a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	26円 (12) (12) (1)	
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (1) (1) (2)	0.081 (0.029) (0.018) (0.034)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	30	0.598	

当作成期中の平均基準価額は、4,992円です。

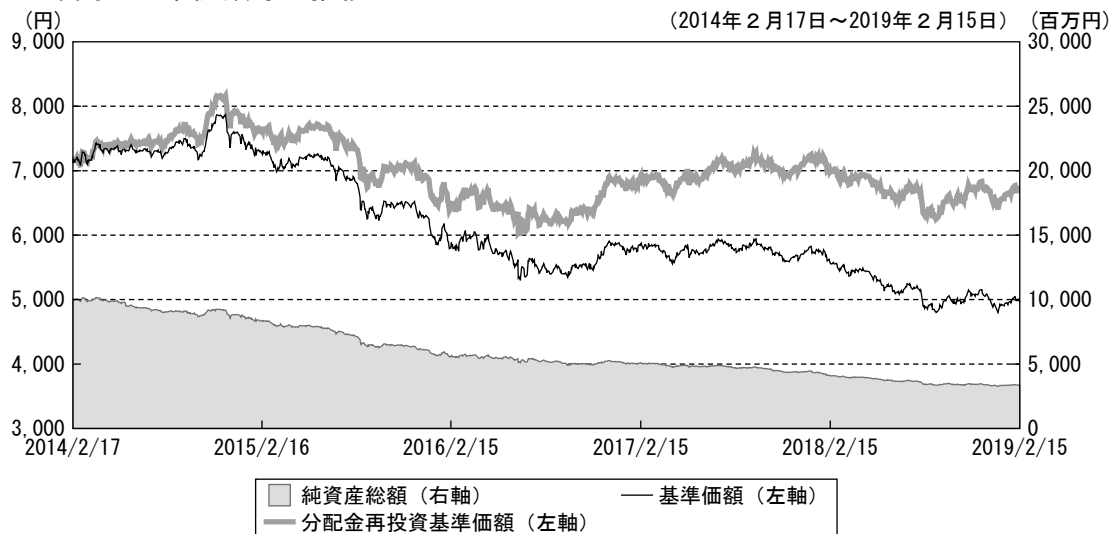
（注1）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注3）「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（注4）「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

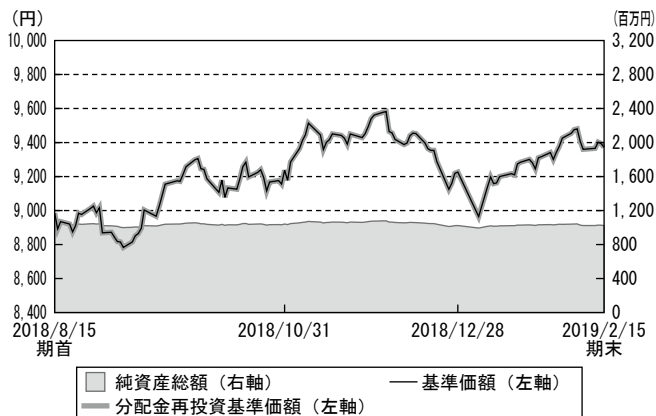


- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、2014年2月17日の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- ・分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

	2014年2月17日 期首	2015年2月16日 決算日	2016年2月15日 決算日	2017年2月15日 決算日	2018年2月15日 決算日	2019年2月15日 決算日
基準価額（分配落）（円）	7,118	7,271	5,802	5,866	5,563	4,960
期間分配金合計（税込み）（円）	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	7.3	△15.7	7.7	1.0	△4.3
純資産総額（百万円）	9,972	8,326	5,571	5,089	4,089	3,346

■運用経過

基準価額等の推移



第21期首：8,985円

第21期末：9,372円（既払分配金0円）

騰落率：4.3%（分配金再投資ベース）

- （注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注3）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得したことや、為替市場において特に新興国通貨が平均的に対日本円で上昇したため、基準価額は上昇し、期首に8,985円でスタートした基準価額は期末には9,372円となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年8月16日～2019年2月15日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社)	48円 (23)	0.517% (0.245)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(23)	(0.245)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
b) その他費用 (保管費用)	7 (3)	0.080 (0.029)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
(監査費用)	(5)	(0.050)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	55	0.597	

当期中の平均基準価額は、9,254円です。

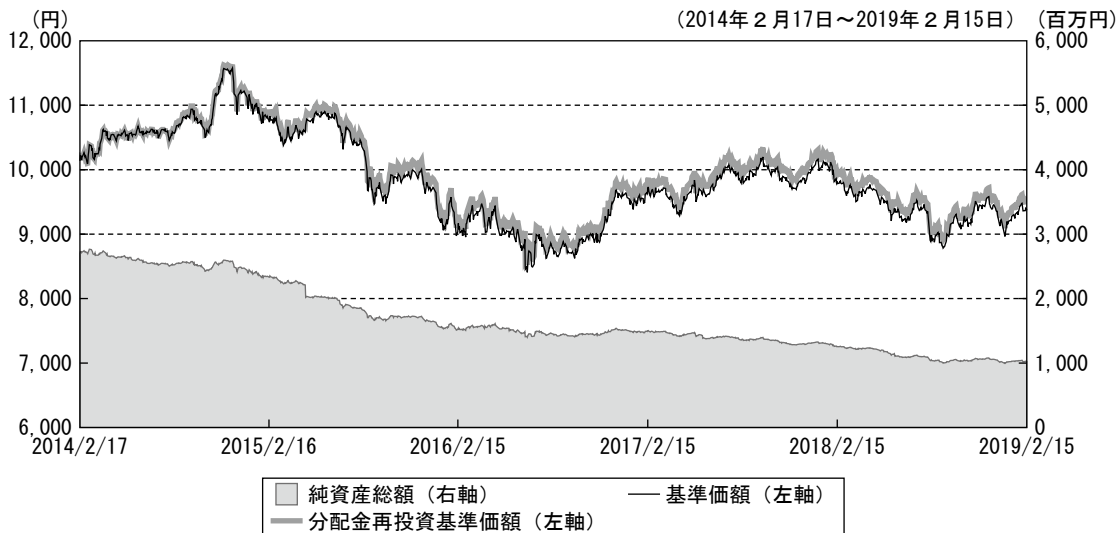
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注3）「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（注4）「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、2014年2月17日の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- ・分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

	2014年2月17日 期首	2015年2月16日 決算日	2016年2月15日 決算日	2017年2月15日 決算日	2018年2月15日 決算日	2019年2月15日 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,140	10,766	9,036	9,712	9,803	9,372
期間分配金合計（税込み）（円）	—	100	50	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	7.2	△15.7	7.5	0.9	△4.4
純資産総額（百万円）	2,702	2,334	1,521	1,502	1,256	1,024

投資環境

米中間での貿易交渉や、米国での一部政府機関の閉鎖など政治面での不透明感が継続し、株式市場の急落等をきっかけに2018年末から2019年初にかけてリスク回避的に急激な円高が進行する局面がありました。一方その後は、先進国主要中央銀行が緩和姿勢を強め、リスク回避の動きが巻き戻されたことが支えとなりました。新興国通貨に関しては、2018年夏場にかけて高まった金融市場の混乱が徐々に落ち着き、経済ファンダメンタルズが安定化しつつあることや、先進国中銀の緩和姿勢がサポートとなったことで、概ね堅調な推移となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

分配金

（毎月分配型）

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第120期～第125期各30円（作成期中合計180円）とさせていただきます。第125期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	(2018年8月16日～ 2018年9月18日)	(2018年9月19日～ 2018年10月15日)	(2018年10月16日～ 2018年11月15日)	(2018年11月16日～ 2018年12月17日)	(2018年12月18日～ 2019年1月15日)	(2019年1月16日～ 2019年2月15日)
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.612%	0.604%	0.589%	0.593%	0.608%	0.601%
当期の収益	21	21	25	21	15	23
当期の収益以外	8	8	4	8	14	6
翌期繰越分配対象額	84	75	70	62	48	41

（年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2018年8月16日～2019年2月15日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,505

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米国を中心に安定的な経済環境が継続すると考えています。金融政策に関しては、先進国において景気が加速する兆候は見られず、インフレが落ち着いていることから、主要中銀は緩やかな姿勢を維持すると考えられるため、金利の上昇は抑制されると考えています。日本や欧州を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、全般的に経済が回復局面にあり、一部の国においては構造改革の進展や、経済ファンダメンタルズのさらなる改善が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。一方、米国の貿易政策など外部環境の与える影響により、各国のファンダメンタルズに乖離が生じやすい環境であることから、新興国に関しては投資対象の選別が特に重要であると考えています。

一部の通貨についてはボラティリティが高まる状況が見られるものの、10通貨に分散することで一部通貨の影響を軽減することが出来ると考えています。加えて、中長期的には高金利通貨への投資により比較的高いキャリーを積み上げることがパフォーマンスの下支えになると期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心に安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■お知らせ

該当事項はありません。

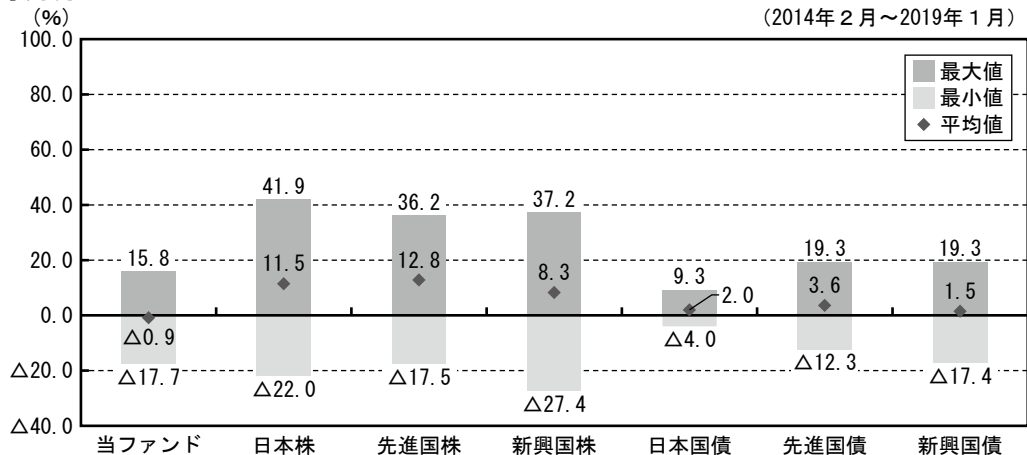
■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年8月28日から2023年8月15日まで	
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合があります。
	モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
	モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	<p>各マザーファンドへの投資を通じて、主として相対的に金利水準の高い世界各国の債券および短期金融商品等に、為替見通しを勘案して投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>マザーファンドへの合計の投資比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>実質的な投資対象とする債券および短期金融商品の残存期間は通常3年以下とし、ポートフォリオのデュレーションは、原則として0～2年程度に維持することを基本とします。</p> <p>原則として、世界の先進主要国および新興国の通貨の中から10通貨程度を選定し、各通貨への実質的な配分は、均等とすることを基本とします。</p> <p>実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>	
配分方針	<p><毎月分配型>原則として、毎決算時（毎月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から配当等収益等を中心に安定した分配を行うことを基本とします。ただし基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。（ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。）</p> <p><年2回決算型>原則として、毎決算時（2月15日および8月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。（ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。）</p> <p>収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。</p>	

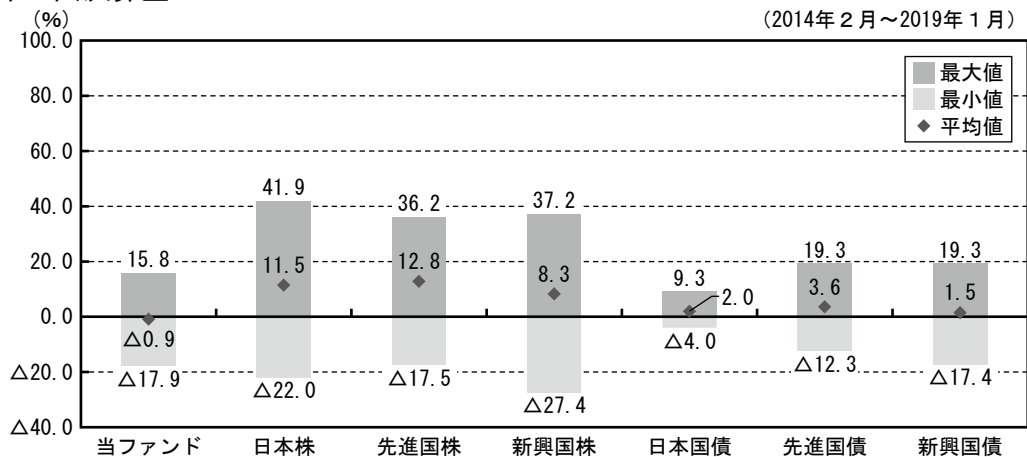
<参考情報>

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

毎月分配型



年2回決算型



- ・上記は、2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60カ月遡った算出結果であり、決算月末に対応した数値とは異なります。
- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ・MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発された浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。
- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発された浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。
- ・NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ・FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（「本指数」）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2019, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

■当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年2月15日現在）

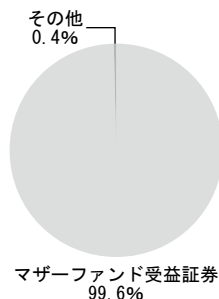
○組入ファンド等

（組入銘柄数：2銘柄）

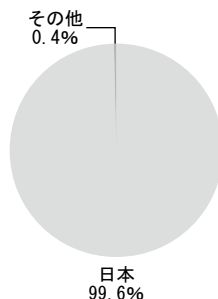
	第125期末
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	48.5%
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	51.1%
その他	0.4%

・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
 ・その他には、現金等を含みます。

○純資産等

項目	第120期末 2018年9月18日	第121期末 2018年10月15日	第122期末 2018年11月15日	第123期末 2018年12月17日	第124期末 2019年1月15日	第125期末 2019年2月15日
純資産総額	3,392,477,638円	3,393,731,462円	3,424,693,479円	3,366,221,541円	3,332,927,601円	3,346,291,691円
受益権口数	6,965,813,343口	6,879,272,575口	6,761,930,239口	6,697,220,679口	6,793,788,996口	6,746,893,571口
1万口当たり基準価額	4,870円	4,933円	5,065円	5,026円	4,906円	4,960円

・当期中において、追加設定元本額は150,668,862円、同解約元本額は426,431,554円です。

■当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年2月15日現在）

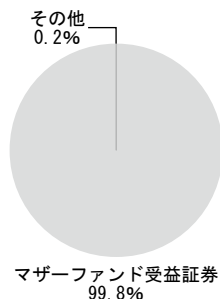
○組入ファンド等

（組入銘柄数：2銘柄）

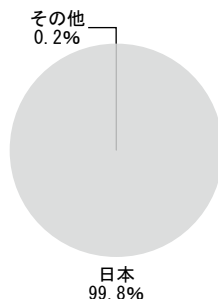
	第21期末
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	49.8%
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	50.0%
その他	0.2%

・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・比率は、当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
 ・その他には、現金等を含みます。

○純資産等

項目	第21期末 2019年2月15日
純資産総額	1,024,690,456円
受益権口数	1,093,326,727口
1万口当たり基準価額	9,372円

・当期中において、追加設定元本額は3,716,682円、同解約元本額は79,273,741円です。

■組入上位ファンドの概要

以下は、当ファンドの主要な投資先ファンドの直近決算の概要です。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド（計算期間 2017年8月16日～2018年8月15日）

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年8月16日～2018年8月15日)	
	金額	比率
その他費用 (保管費用)	6円	0.055%
(その他)	(6)	(0.054)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	6	0.055

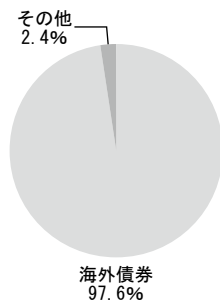
当期中の平均基準価額は、10,941円です。

○組入上位銘柄

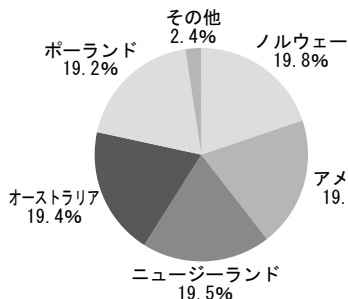
(組入銘柄数 5銘柄)

	銘柄名	利率	償還日	通貨	比率
1	NORWAY	4.5%	2019/5/22	ノルウェークロネ	19.8%
2	US TREASURY	1.125%	2020/4/30	米ドル	19.7%
3	NEW ZEALAND	5%	2019/3/15	ニュージーランドドル	19.5%
4	AUSTRALIA	3.25%	2018/10/21	オーストラリアドル	19.4%
5	POLAND	5.25%	2020/10/25	ポーランドズロチ	19.2%
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—

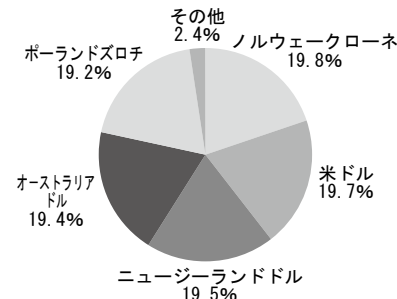
○資産別配分



○国別配分



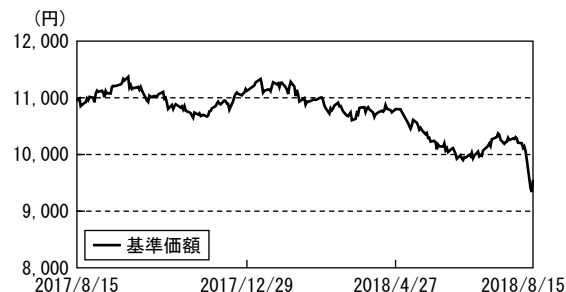
○通貨別配分



- ・組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- ・資産別・国別・通貨別配分において、その他には現金等を含みます。
- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目等については「運用経過」1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- ・比率は、純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド（計算期間 2017年8月16日～2018年8月15日）

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年8月16日～2018年8月15日)	
	金額	比率
その他費用 (保管費用) (その他)	15円 (10) (5)	0.138% (0.092) (0.046)
合計	15	0.138

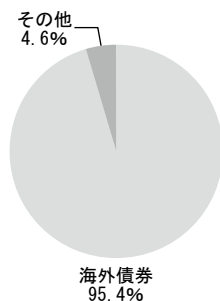
当期中の平均基準価額は、10,755円です。

○組入上位銘柄

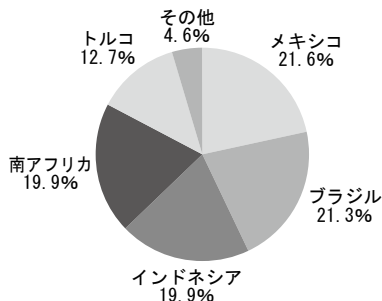
(組入銘柄数 8銘柄)

	銘柄名	利率	償還日	通貨	比率
1	BRAZIL	10%	2019/1/1	ブラジルレアル	21.3%
2	INDONESIA GOVERNMENT	12.8%	2021/6/15	インドネシアルピア	19.9%
3	MEXICO	8.5%	2018/12/13	メキシコペソ	11.2%
4	SOUTH AFRICA	7.25%	2020/1/15	南アフリカランド	11.0%
5	TURKEY	7.4%	2020/2/5	トルコリラ	10.9%
6	MEXICO	8%	2020/6/11	メキシコペソ	10.4%
7	SOUTH AFRICA	8%	2018/12/21	南アフリカランド	8.9%
8	TURKEY	10.5%	2020/1/15	トルコリラ	1.8%
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—

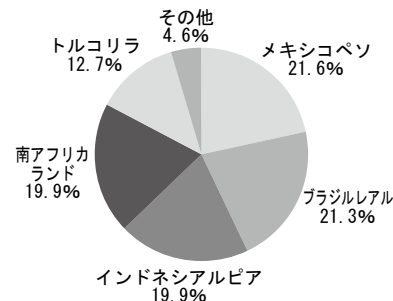
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- ・組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- ・資産別・国別・通貨別配分において、その他には現金等を含みます。
- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目等については<運用経過>1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- ・比率は、純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については運用報告書（全体版）でご覧いただけます。